

新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会 会議結果

1 開催日 令和2年12月15日（火）

2 出席者 20名

(1) 特別委員会委員 8名

(2) 説明員

ア 茨城県 2名

県民生活環境部 次長、 県民生活環境部 廃棄物対策課 課長

イ 一般財団法人 茨城県環境保全事業団 1名

副所長兼技監兼施設課長

ウ 日立市 5名 生活環境部長 ほか

(3) 議会事務局 4名

3 会議概要

(1) 案件の協議

茨城県から説明を受け、質疑を行った。なお、説明内容及び委員からの主な意見は、次のとおりです。

ア エコフロンティアかさま見学会の実施結果

7月下旬から11月下旬までに計11回実施し、延240名の参加があった。

イ 交通問題対策会議の検討状況

副知事を議長とする「交通問題対策会議」において、道路工事基礎調査や交通量調査の結果を踏まえ、交通安全上、局所改良や歩道設置が必要な箇所等の検討を行うとともに、市街地を回避した新たな搬入ルートも検討している。

ウ 最終処分場整備に関する調査の実施状況

整備候補地の地盤の強度、地下水の状況等について、ボーリング調査や電気探査を行うとともに、施設構造や配置計画の検討に必要な測量調査を実施している。

エ 本県の産業廃棄物中間処理の現状

県内には産業廃棄物中間処理施設が550施設あり、そのうち焼却（熔融）施設は25施設となっている。

県内の産業廃棄物焼却施設全体の焼却実績のうち、エコフロンティアかさまの割合は7.4%であり、エコフロンティアかさまに埋立処分されるものの大部分(97.3%)が他の中間処理施設等を経て処分場に搬入されている。

オ その他

住民説明会で出された意見に対する県の回答をまとめた「住民説明会Q&A」の更新版を作成したので、今後、ホームページで公開するほか、各コミュニティにも配付する予定である。

■ 委員の主な意見

最終処分場までの搬入ルートとして、市街地を通る「現道利用」ではなく、新規の搬入ルートを検討するとともに、現在実施している各種調査の分析も進めて報告するなど、県の対応方針の早期説明を求める意見・要望が多数出された。

(2) 請願の表決

市内の市民団体から提出されている「新産業廃棄物最終処分場整備候補地を撤回し、自然環境、生活環境、道路交通の安全を守ることを求める請願」、及び、「諏訪地区への県営巨大産業廃棄物最終処分場の建設に関する請願」の2件について審査し、採決の結果、それぞれ全会一致で継続審査と決した。なお、請願の趣旨（願意）及び継続審査とした理由は、次のとおりです。

ア 新産業廃棄物最終処分場整備候補地を撤回し、自然環境、生活環境、道路交通の安全を守ることを求める請願【継続審査中の請願】

《請願の趣旨》

「日立市は、県に対して、処分場整備の要請を受けないと回答すること。」及び「市主催の意見聴取の会やアンケート調査などを実施すること。」を、日立市議会として、日立市に要請してほしい。

イ 諏訪地区への県営巨大産業廃棄物最終処分場の建設に関する請願

【今回付託された請願】

《請願の趣旨》

日立市議会として処分場建設に反対の意思を表明し、日立市長、県知事及び県議会議長へその旨を伝えてほしい。また、日立市議会としても意見聴取の会を開き、市民の意見を集約してほしい。

ウ 継続審査とした理由

現在、県では、交通問題対策会議や各種調査において、交通安全対策を含めた道路整備の問題のほか、自然環境、生活環境上の課題に対し調査・検討をしている段階であり、具体的な対応方針が示されてからでなければ、これらの請願の是非を判断することはできない。

以 上